

2022 年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名 東北大学災害伝承プロジェクトもとさ
 代表者・役職名 氏名 田中駿介・代表

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

将来の防災リーダー育成を目指した大学生対象三陸沿岸防災体験ツアー

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2017年5月、震災ボランティア団体に所属していた有志の東北大生活メンバーにより創設された。活動の中で被災地域の住民の方から多く聞かれた「二度と自分たちと同じ思いをしてほしくない」という声に応えるべく、「東北被災地の教訓を、これから災害が起こるとされる未災地の防災に生かす」を団体のミッションに掲げた。現在、会員数は14名で活動している。(169字)

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

東日本大震災発生から11年が経ち復興の流れとともに世間的な注目度は薄まっている。そんな中今でも住民からは「災害は突然起きるから一人一人の意識が大切」「東北の経験が無駄にしないでほしい」といった声が多く聞かれる。そういった声に応える意味でも、当時は小学生であったため震災の記憶が少ない現在の大学生が三陸沿岸で震災について学び、将来的に地域の防災を先頭に立って引っ張っていくことが必要であると考え、①災害への当事者意識、②東日本大震災被災地への理解と関心を高めることを本ツアーの目的としている。(246字)

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

東北大学生8名による2泊3日の活動を行った。

初日は岩手県宮古市田老町で、地震・津波を想定して高台避難を疑似体験する避難体験と田老の被害や復興を学ぶ「田老の学ぶ防災ガイド」を実施した。

2日目は岩手県陸前高田市で現地ガイド付きのサイクリングツアーを体験し、その後「3.11 仮設住宅体験館」に宿泊した。夜は簡易防災キャンプとして非常食を試食、防災グッズの試用をすることで非常時の生活の一部を体験した。

3日目は2回目の避難体験を宮城県女川町で行った。初日が単独での避難だったのに対し、今回は家族を想定したグループでの避難体験とした。女川を見学しながら被害やまちづくりについて団体メンバーによる解説も行った。(299字)

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

運営を含め8名で本ツアーを実施した。アンケートで参加前後の防災意識(どれだけ自然災害を自分の問題として捉えられていると感じるか)を10段階で聞いたところ全員の数値が上昇し、平均値は参加前5.8から参加後8.4と上がった。またツアーを通じた被災地への理解・関心度の変化を問う(値が大きいほど理解・関心度が上昇)と平均で9.15とかなり高かった。参加者の声としても「水は本当に色々な場面で使えるので

いくらあってもいいと思った。」「避難体験、現地の方々の話を友達や家族に伝えたい。福島や気仙沼にも行ってみたい。」といった意見があることから本ツアーを通じて防災意識や被災地への関心が高まったといえる。(298字)

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

広報面では、関心が高い東北大生に向けて集中的に最大限アプローチすることができず、当初考えていたより少ない人数で実施することになった。

運営面では、地域を初めて訪れる参加者への事前知識の提供が不十分であったことが挙げられる。事前に地域の概要、当時の被害や復興過程でのエピソードに触れられれば語り部の話や各体験がより一層質の高い体験にできただろう。

今後は参加者の感想をもとに現地協力者と意見交換し、プログラムの更なる発展のための材料とする。本団体の企画した避難体験や防災体験については、今回の経験を踏まえて細かい条件を付与するなどして実際の災害時に近づける工夫を施し、参加者に効果的に資するものとしたい。(299字)

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



【写真1】田老での避難体験の様子



【写真2】陸前高田サイクルガイドツアーの様子



【写真3】二日目の夜に行った簡易防災キャンプの様子